

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成28年8月25日(2016.8.25)

【公表番号】特表2015-523959(P2015-523959A)

【公表日】平成27年8月20日(2015.8.20)

【年通号数】公開・登録公報2015-052

【出願番号】特願2014-561202(P2014-561202)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/81 (2006.01)

A 6 1 Q 1/04 (2006.01)

A 6 1 Q 1/02 (2006.01)

A 6 1 Q 1/06 (2006.01)

A 6 1 K 8/891 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 8/81

A 6 1 Q 1/04

A 6 1 Q 1/02

A 6 1 Q 1/06

A 6 1 K 8/891

【誤訳訂正書】

【提出日】平成28年7月4日(2016.7.4)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

生理学的に許容される媒体中に、

- 式HO-P-OH

[式中、Pは、1種又は複数の、直鎖状、環状及び/又は分枝状の多不飽和C₂~C₁₀アルケン、好ましくはC₂~C₄アルケンの重合によって得られうるホモポリマー又はコポリマーを表す]の官能化ポリアルケンポリマーをベースとし、

前記官能化ポリアルケンポリマーと、

前記官能化ポリアルケンポリマーの反応性基と反応可能な少なくとも1つの反応性基で官能化された少なくとも1つの連結基と

の反応から、特に縮合から誘導されることが可能であり、

前記連結基は、少なくとも3つのH(水素)結合、好ましくは少なくとも4つのH結合、優先的には4つのH結合を形成することが可能である

少なくとも1種の超分子ポリマーと、

- 少なくとも1種の、好ましくはフェニル化された、不揮発性シリコン油と、

- 少なくとも1種の不揮発性炭化水素化油

を含み、

前記不揮発性炭化水素化油が、ポリブテン、水素化ポリブテン、ポリイソブテン、水素化ポリイソブテン、ポリデセン、水素化ポリデセン及びそれらの混合物から選択される無極性炭化水素化油である、皮膚及び/又は唇をメイクアップする及び/又はケアするための組成物。

【請求項2】

式HO-P-OHの官能化ポリアルケンが、水素化されている、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

Pが、1種又は複数の、直鎖状又は分枝状のジ不飽和 $C_2 \sim C_4$ アルケンの重合によって得られるホモポリマー又はコポリマーを表す、請求項1又は2に記載の組成物。

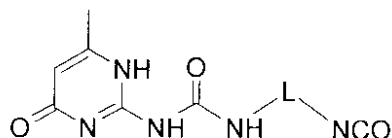
【請求項4】

Pが、ポリブチレン、ポリブタジエン、ポリイソブレン、ポリ(1,3-ペンタジエン)又はポリイソブチレン、及びそれらのコポリマー、好ましくはポリ(エチレン/ブチレン)を表す、請求項1から3のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項5】

官能化された連結基が、式：

【化1】

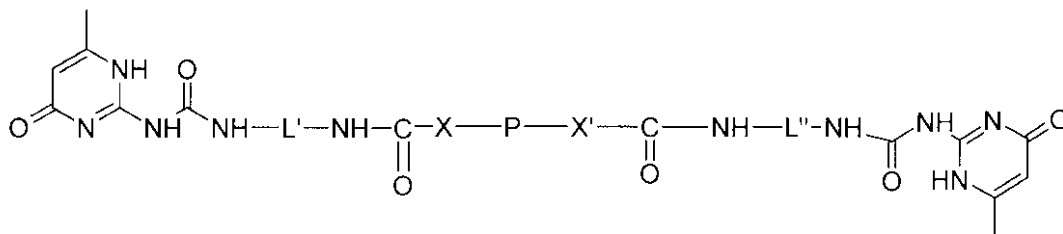


(式中、Lは、直鎖状又は分枝状の $C_1 \sim C_{20}$ アルキレン、 $C_5 \sim C_{20}$ (アルキル)シクロアルキレン、アルキレン-ビスシクロアルキレン及び $C_6 \sim C_{20}$ (アルキル)アリーレンから特に選択される、飽和又は不飽和の二価 $C_1 \sim C_{20}$ 炭素系基であり、好ましくはイソホロン基である)のものである、請求項1から4のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項6】

超分子ポリマーが、式：

【化2】



(式中、

- L'及びL''は、互いに独立に、請求項5においてLについて定義された通りであり、
 - X、X'=Oであり、Pは、請求項1から5のいずれか一項において定義された通りである)
- に相当する、請求項1から5のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項7】

- L'とL''との双方が、イソホロン基であり、
- X及びX'=Oであり、Pが、ポリブチレン、ポリブタジエン、ポリイソブレン、ポリ(1,3-ペンタジエン)又はポリイソブチレン、及びそれらのコポリマー、好ましくはポリ(エチレン/ブチレン)を表す、請求項6に記載の組成物。

【請求項8】

組成物の総質量に対して3質量%から60質量%、好ましくは3.5質量%から50質量%、又は更には4質量%から40質量%の超分子ポリマーを含む、請求項1から7のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項9】

前記不揮発性シリコーン油が、フェニル化シリコーン油である、請求項1から8のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項10】

前記不揮発性フェニル化シリコーン油が、
a) 次式(I)に相当するフェニルシリコーン油

$$\begin{array}{c}
 \text{R} \\
 | \\
 \text{R}-\text{Si}-\text{O} \\
 | \quad | \\
 \text{R} \quad \text{R} \\
 | \quad | \\
 \text{R}-\text{Si}-\text{O} \\
 | \\
 \text{R}
 \end{array}
 \quad
 \begin{array}{c}
 \text{R} \\
 | \\
 \text{R}-\text{Si}-\text{O}-\text{Si}-\text{R} \\
 | \quad | \\
 \text{R} \quad \text{R}
 \end{array}
 \quad (I)$$

b) 次式(II)に相当するフェニルシリコン油

$$\begin{array}{ccccccc} & R & & R & & R & \\ & | & & | & & | & \\ R - Si - O - Si - O - Si - R \\ & | & & | & & | & \\ & R & & R & & R & \end{array} \quad (II)$$

c) 次式(III)に相当するフェニルシリコン油

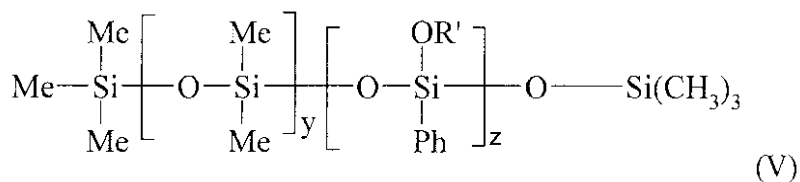
$$\begin{array}{ccccccc} & \text{Ph} & & \text{Ph} & & \text{Ph} & \\ & / & & / & & / & \\ \text{Me} - & \text{Si} & - \text{O} - & \text{Si} & - \text{O} - & \text{Si} & - \text{Me} \\ & \backslash & & \backslash & & \backslash & \\ & \text{Ph} & & \text{Me} & & \text{Ph} & \end{array} \quad (\text{III})$$

d) 次式(IV)に相当するフェニルシリコン油

$$\begin{array}{c} \text{Me} \\ | \\ \text{X}-\text{Si}-\left[\text{O}-\text{Si} \right]_y-\text{O}-\text{Si}-\text{X} \\ | \qquad | \qquad | \\ \text{Me} \quad \text{Me} \quad \text{Me} \end{array} \quad (\text{IV})$$

e) 次式(V)に相当するフェニルシリコン油

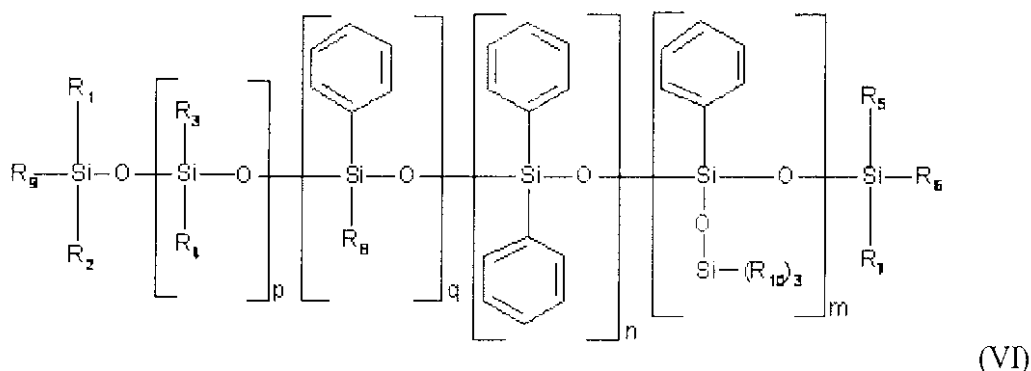
【化 7】



[式中、Meはメチルであり、Phはフェニルであり、OR'は-OSiMe₃基を表し、yは、0であるか、又は1から1000の間を範囲とし、zは1から1000の間を範囲とし、詳細には、y及びzは化合物(V)が不揮発性油となる数であり、好ましくは、yが1から1000の間を範囲とするときに例えばトリメチルシロキシフェニルジメチコンであり、好ましくは、yが0に等しいときに例えばフェニルトリメチルシロキシトリシロキサンである]、

f) 次式(VI)に相当するフェニルシリコーン油、及びそれらの混合物

【化 8】



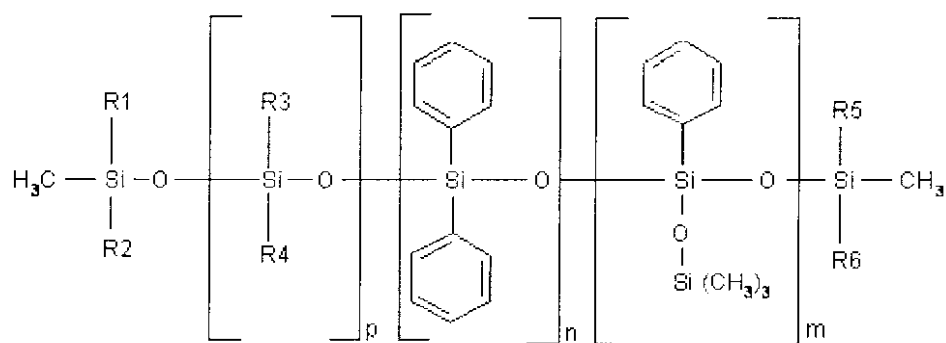
(式中、

- R₁からR₁₀は、互いに独立に、飽和又は不飽和の、直鎖状、環状又は分枝状のC₁～C₃₀炭化水素系基であり、

- m、n、p及びqは、互いに独立に、0から900の間の整数であり、但し、和m+n+qは0ではなく、好ましくは、和m+n+qは1から100の間であり、好ましくは、和m+n+p+qは1から900の間であり、好ましくは、qは0に等しく、好ましくは、R₁からR₁₀は、互いに独立に、飽和若しくは不飽和の、直鎖状若しくは分枝状のC₁～C₃₀炭化水素基、好ましくは飽和であり、特にC₁～C₁₂炭化水素系基、特にC₃～C₁₆、より特定するとC₄～C₁₀、又は単環式若しくは多環式C₆～C₁₄、特にC₁₀～C₁₃アリール基、若しくはアラルキル基を表す。好ましくは、R₁からR₁₀は、それぞれ、メチル、エチル、プロピル、ブチル、イソプロピル、デシル、ドデシル若しくはオクタデシル基、又は代わりにフェニル、トリル、ベンジル若しくはフェネチル基を表すことができる。R₁からR₁₀は、特に同一であってもよく、加えて、メチル基であってもよい)、

g) 次式(VII)に相当するフェニルシリコーン油、及びそれらの混合物

【化 9】



(VII)

[式中、

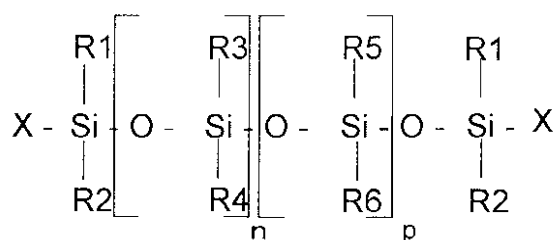
- $R_1 \sim R_6$ は、互いに独立に、飽和又は不飽和の、直鎖状、環状又は分枝状の $C_1 \sim C_{30}$ 炭化水素系基であり、好ましくは、 R_1 から R_6 は、 $C_1 \sim C_{30}$ アルキル基、アリール基又はアラルキル基であり、

- m 、 n 及び p は、互いに独立に、0から100の間の整数であり、但し、和 $n+m$ は1から100の間であり、

好ましくは、 R_1 から R_6 は、互いに独立に、飽和若しくは不飽和の、直鎖状若しくは分枝状の $C_1 \sim C_{30}$ 炭化水素基、好ましくは飽和であり、特に $C_1 \sim C_{12}$ 炭化水素系基、特に $C_3 \sim C_{16}$ 、より特定すると $C_4 \sim C_{10}$ 、又は単環式若しくは多環式 $C_6 \sim C_{14}$ 、特に $C_{10} \sim C_{13}$ アリール基、若しくはアラルキル基を表す。好ましくは、 R_1 から R_6 は、それぞれ、メチル、エチル、プロピル、ブチル、イソプロピル、デシル、ドデシル若しくはオクタデシル基、又は代わりにフェニル、トリル、ベンジル若しくはフェネチル基を表すことができ、好ましくは R_1 から R_6 は、特に同一であってもよく、加えて、メチル基であってもよく、好ましくは、式(VII)中、 $m=1$ 若しくは2若しくは3であり、及び/又は $n=0$ 、及び/又は $p=0$ 若しくは1を適用できる)、

h) 次式(IX)に相当するフェニルシリコーン油、及びそれらの混合物

【化 10】



(IX)

(式中、

R_1 、 R_2 、 R_5 及び R_6 は、一緒に又は別々に、1～6個の炭素原子を有するアルキル基であり、 R_3 及び R_4 は、一緒に又は別々に、1～6個の炭素原子を有するアルキル基、又はアリール基であり、但し、 R_3 及び R_4 の少なくとも1つはフェニル基であり、 X は、1～6個の炭素原子を有するアルキル基、ヒドロキシル基又はビニル基であり、 n 及び p は、油に、質量平均分子量200000g/mol未満、好ましくは150000g/mol未満、より好ましくは100000g/mol未満を付与するように選択される1以上の整数である)、

i) 並びにそれらの混合物

から選択される、請求項1から9のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 1 1】

前記不揮発性フェニル化シリコーン油が、

- フェニルトリメチコン、
- テトラメチルテトラフェニルトリシロキサン
- ジフェニルシロキシフェニルトリメチコン、
- ジフェニルシロキシフェニルジメチコン、
- トリメチルペンタフェニルトリシロキサン、
- フェニルジメチコン、
- フェニルトリメチルシロキシジフェニルシロキサン、
- ジフェニルジメチコン、
- ジフェニルメチルジフェニルトリシロキサン、及び
- 2-フェニルエチルトリメチルシロキシシリケート、
- 並びにそれらの混合物

から選択される、請求項1から10のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 1 2】

前記不揮発性フェニル化シリコーン油が、式(VII)(式中、 m 、 n 、 p 及び R_1 から R_6 は、前に定義した通りであり、好ましくは R_1 から R_6 はメチル基であり、式中、 $m=0$ であり、 n 及び p は、互いに独立に、1から100の間の整数である)に相当するフェニルジメチコン油から選択され、好ましくは前記シリコーン油が、ジフェニルジメチコンから選択される、請求項10又は11に記載の組成物。

【請求項 1 3】

前記不揮発性フェニル化シリコーン油が、式(VII)(式中、 m 、 n 、 p 及び R_1 から R_6 は、前に定義した通りであり、好ましくは R_1 から R_6 は、メチル基であり、式中、 p は、1から100の間であり、和 $n+m$ は、1から100の間であり、 $n=0$ である)に相当するフェニルジメチコン油から選択され、好ましくは前記シリコーン油が、トリメチルシロキシフェニルジメチコンから選択される、請求項10又は11に記載の組成物。

【請求項 1 4】

前記不揮発性フェニル化シリコーン油が、式(VII)に相当するフェニルジメチコン油から選択され、好ましくは、

- ジフェニルジメチコン、
- トリメチルシロキシフェニルジメチコン、
- 及びそれらの混合物

から選択される、請求項12又は13に記載の組成物。

【請求項 1 5】

前記不揮発性シリコーン油が、ポリジメチルシロキサン、アルキルジメチコン、ビニルメチルメチコンから好ましくは選択され、並びに任意選択でフッ素化された脂肪族基で修飾された、又はヒドロキシル基、チオール基及び/又はアミン基等の官能基で修飾されたシリコーンからも好ましくは選択され、好ましくは、ポリジメチルシロキサン、アルキルジメチコンから好ましくは選択されるジメチコン油から選択される非フェニル化シリコーン油である、請求項1から8のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 1 6】

組成物の総質量に対して0.1質量%から70質量%、好ましくは0.2質量%か40質量%、又は更には合計で0.3質量%から30質量%のシリコーン油を含む、請求項1から15のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 1 7】

炭化水素化極性油及び/若しくは脂肪ペースト状化合物及び/若しくはフィラー、及び/若しくは着色剤、並びに/又はそれらの混合物から好ましくは選択される少なくとも1種の追加の化合物を更に含む、請求項1から16のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 1 8】

少なくとも1種のフィラー、例えばシリカ及び/又は疎水性シリカを含む、請求項1から1

7のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 19】

疎水性シリカエアロゲル粒子、好ましくはトリメチルシリル基で表面修飾された疎水性シリカエアロゲル粒子を更に含み、好ましくは、組成物の総質量に対して0.1質量%から15質量%、より良好には0.1質量%から10質量%、良好には0.1質量%から6質量%、より良好には0.2質量%から4質量%を範囲とする含量で含む、請求項1から18のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 20】

デキストリンと脂肪酸、好ましくは $C_{12} \sim C_{24}$ 脂肪酸とのエステル、好ましくはパルミチン酸デキストリンを更に含む、請求項1から19のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 21】

リップスティック、リップケア製品、リップスティックペンシル又はリップグロス等の唇用製品である、請求項1から20のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 22】

液体である、請求項1から21のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 23】

少なくとも請求項1から22のいずれか一項に記載の組成物を、皮膚及び/又は唇の上に適用する工程を含む、皮膚及び/又は唇をメイクアップする及び/又はケアするための方法。